

赤潮発生状況速報

通報番号 (FO)-(25)-(3)

通報日時 2025年6月20日

(1) 発 生 日	2025年6月19日	(6) 漁業被害	なし
(2) 発生海域	有明海福岡県海域		
(3) 発生状況	6月19日にラフィド藻の <i>Heterosigma akashiwo</i> と渦鞭毛藻の <i>Gyrodinium</i> spp.および <i>Heterocapsa</i> spp.による着色域を確認した。	(7) その他 (発信元) 福岡県水産海洋技術センター有明海研究所	
(4) 水 色	15		
(5) 構成種及び最大細胞数	<i>Heterosigma akashiwo</i> 16,480 cells/ml <i>Gyrodinium</i> spp. 10,360 cells/ml <i>Heterocapsa</i> spp. 7,380 cells/ml	ラフィド藻のヘテロシグマ・アカシオ(<i>Heterosigma akashiwo</i>)による赤潮は有害な赤潮であり、細胞密度が数万細胞/mlを超えると魚類、貝類等がへい死する恐れがあります。 また、港内等で魚介類を畜養する場合は夜間に酸素濃度が低下するおそれがありますので、魚介類の動向に十分に注意してください。 <i>Heterocapsa</i> 属(ヘテロカプサ属)のプランクトンには貝類を殺す種類がいますが、今回の赤潮の <i>Heterocapsa</i> spp.は貝類への毒性はない種類です。 しかし、プランクトンが死んで分解される際に海水中の酸素を消費するため、海水中の酸素濃度が低下するおそれがありますので、赤潮の発生海域周辺で魚介類の畜養等をされている方は、今後の赤潮の動向に注意してください。 渦鞭毛藻の <i>Gyrodinium</i> spp.は、魚類や貝類に直接被害を与える有害なプランクトンではありません。	

